



日野中だより 5号
発行：令和3年7月20日(火)
文責：佐世保市立日野中学校
校長 池田 美祐紀

校訓



学校教育目標

心豊かで活力に満ちた生徒の育成

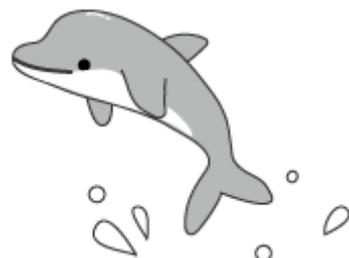
学びあい 認めあい 支えあい

明日から夏休み — 7月20日 全校集会 校長講話より —



皆さん、こんにちは。明日からいよいよ、皆さんが心待ちにしていた夏休みに入ります。今年は、昨年度より、10日程早い夏休みですね。

コロナ禍の状況は依然として続いています。前期前半、私たちは大きな行事をひとつひとつ実現してきました。思い出してみてください。4月の始業式、入学式に始まり、歓迎行事、5月の体育大会、6月の市中体、生徒総会、定期テスト、1年生はつい先日、野外活動も行いましたね。



私は、コロナ禍の厳しい状況にあっても、この状況としっかり向き合い、工夫をしてたくさんの学校行事をやり遂げることができたことは、とても素晴らしいことだと思っています。昨年度の経験を生かし、学習して、いろいろな方法を考えながら、できることを確実にやり、成し遂げて来られたのは、皆さんの協力と頑張りのおかげだと思っています。

不安が入り混じっていた4月初めの皆さんの表情と今の皆さんの表情を比較すると、今はとてもたくましくなっていて、いい顔になっています。この4か月間、さまざまな行事や活動をとおして、新しい人間関係を作り上げようと、一人一人が一生懸命に努力した証だと思っています。お疲れさまでした。

さて、この夏休みは1年延期となっていたオリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックは通常4年に1度の開催なので、アスリートの人たちは、4年後の目標に照準を合わせます。本番のその日、その一瞬に自分の最大の力を発揮できるよう、自分の精神力や体力がベストの状態、最高の状態をもって来るように調整しなければなりません。1週間後に合わせるといふなら、まだわかりますが、4年後。今回は5年後になりますね。目標を4年先に合わせるためには、相当な努力や気力が必要だと思っています。皆さんも、1年後の市中体とか、1か月先の定期テストなどに目標を合わせて準備をした経験があるでしょうから、わかると思いますが、今日、明日とか数日間だけ頑張っても、力はつきません。強くもなれませんよね。

「三年先の稽古」という言葉があります。これは相撲界でよく言われる言葉ですが、元横綱・千代の富士がインタビューで、次のように語っておられるのを聞いたことがあります。「『三年先の稽古』って言葉があるんだけど、今日、明日とか1週間くらいやったって、すぐには、力はつかない。毎日、毎日稽古することによって三年くらいたつてようやく稽古の貯金が増えて、本当の力ができてくる。そういう信念を持って頑張れる子はよくなっていく。」 いかがでしょうか。



間もなく、3年生は三者面談が始まります。自分の将来について考え、進路を決定していく時期に入るわけです。1・2年生も二者面談が始まります。1年先、2年先の目標について、真剣に考えなければなりません。どの学年も、3年後はここにはいません。新しい環境にいるはずですよ。

特に3年生は、将来のことや進路のことを考えると不安になるかもしれません。でも、自分の希望する未来を描くならば、「今」が大切なのです。今、やっていることが、皆さんの未来につながっていきます。では、この夏休みをどう過ごすのか……？

各自が自分の目標に照準を合わせて、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。この夏休みは、タブレットの持ち帰りができます。テストの結果に反省点がある人は、タブレットを使って大いに勉強してみてください。夏休みの努力が、9月のテストに表れてくるでしょう。何か新しい研究をしてみるのもいいですね。時間が十分にある時にしかやれないことにじっくり取り組んでみてください。新しい発見があった人は、夏休み明けに知らせてください。



最後になりましたが、「夏休みの生活心得」をきちんと守り、安全に気を付けて、健康で、楽しく、有意義な休みとしてください。それでは、8月9日に、また元気に会いましょう。

「ココロねっこ運動」をご存じですか？

本県による犯罪少年の検挙人員は年々減少傾向にあります。少年犯罪の低年齢化が問題となっているほか、スマートフォンやSNSを始めとする新たな危機・サービスが急速に普及しているに伴いSNS利用に起因する被害児童数は、近年増加傾向となっています。内閣府や本県では、7月を「ココロねっこ運動強調月間」と位置づけ、青少年の非行・防止対策の推進を呼びかけています。(令和3年度長崎県「ココロねっこ運動強調月間」実施要項 趣旨より抜粋)



ココロねっこ運動とは、子どもたちの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。また、長崎県ではあいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取組を「ココロねっこ運動」として推進しています。

平成13年度からスタートした運動で、平成20年10月には「長崎県子育て条例」の中で県民運動として取り組むことが定められました。子どもは、身近な大人をモデルにします。モデルである私たち大人が子どもたちのよき手本となっていきましょう。

<全国強調月間の最重点課題等>

- ◎ペアレンタルコントロール等によりインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止
- 有害環境への適切な対応
- 薬物乱用対策の推進
- 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- 再非行（犯罪）の防止
- いじめ・暴力行為等も問題行動への対応



特に、最重点課題であるペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に子どもの犯罪被害防止については、ご家庭でも話題にさせていただき、指導をしていただくようお願いいたします。

保護者・地域の皆さまへ 暑中お見舞い申し上げます！

これまで、子どもたちを温かく見守り、本校の教育活動にご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。4か月間本当にありがとうございました。暑さ厳しき折、くれぐれもご自愛ください。 校長